

言葉がわかるなら漢字もわかる

柳平：つまり、子供の生まれる前から、親が親としての心構えを作っておくということが大切だ、ということですね。ところで、私たちが、今、広めようとしている“石井方式・漢字の教え方”でも、石井先生は、「ゼロ歳でも漢字が読める」と言われています。ハードウェアがすでに備わっているのですから、そこに漢字を与えれば、ゼロ歳の赤ん坊でもこれを受け入れ判別することができる、と言ってよろしいのでしょうか。

時実：私は、漢字を読むことは、言葉を話すことと同じだ、と考えています。ですから、言葉がわかるなら、漢字がわかっても当然です。ただ、赤ん坊は、普通、言葉に接するようには漢字に接しませんから、言葉を覚えて話せるようになりますが、漢字を覚えて読むようにはならないのです。子供の部屋中を漢字でいっぱいになれば、自然に覚えていくでしょう。ただ、親は面倒だから、なか

なかそうはしないでしょうがね……。最近の子供はよくしゃべるでしょう。あれは、文字に触れるチャンスが少ないから、言葉の方ばかり発達するんです。

言葉と文字は早く身につけることが大切

柳平：そうしますと、先生の大脳生理学の立場から御覧になっても、3歳で漢字が読めるということは、何の不思議もないわけですね。

時実：そうです。石井先生の主張については、とやかく言われる方もいるようですが、私はよいことなら今すぐ始めるべきだ、と思っています。言葉と文字を早く身につけて、しっかりとしたハードウェアを作っておけば、将来、どんな方向にでも伸びられますからね。